

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

東金市長 鹿間 陸郎

市町村名 (市町村コード)	東金市 (12213)
地域名 (地域内農業集落名)	源地区 ( 源村2-1 )
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年1月31日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・高齢化
- ・担い手、人員の不足
- ・耕作放棄地が多い
- ・集落戸数の減少

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・地区全体で営農法人を運営する
- ・観光農園等の集客力のある取り組みをする

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・貸し借りを当人同士で済ませている農地が多い
(2)農地中間管理機構の活用方針
・空き農地を新規参入者に紹介する仕組みが必要
(3)基盤整備事業への取組方針
・ほ場が小さい ・谷田が多く耕作が難しい ・水が不足している
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・個人の営農には限界がある ・源地区全体で営農法人を設立したい ・働き手(雇用を含めて)が少ない ・農大と連携して新規参入者を確保する ・農業研修生の受け入れと報酬を支払う仕組みづくり ・企業を誘致
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①イノシシやアライグマの獣害が多い(意見)
- ⑨農産物の価格が安い、安定しない、所得が増えない(意見)
- ⑨年貢を払うだけでなく、管理費を貰うような仕組みが欲しい(意見)
- ⑨補助金についての詳しい説明が欲しい(意見)